

製品名: TMEM173 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21585**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:42kD;Observed MW:37kD

抗原情報

遺伝子名	TMEM173 TMEM173;ERIS;MITA;STING;Transmembrane protein 173;Endoplasmic reticulum interferon stimulator;ERIS;Mediator of IRF3 activation;hMITA;Stimulator of interferon genes protein;hSTING
別名	
遺伝子 ID	340061.0
SwissProt ID	Q86WV6
免疫原	ヒト STING の組み換えタンパク質

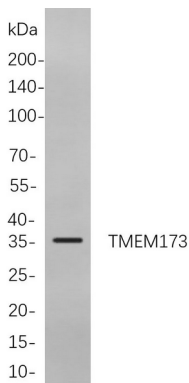
背景

細胞局在：細胞質、膜性。この遺伝子は、ウイルスおよび細菌感染に対する自然免疫応答の主要な調節因子として機能する 5 回膜貫通型タンパク質をコードしています。コードされているタンパク質は、細胞質核酸を検出し、I 型インターフェロン応答を活性化するシグナルを伝達するパターン認識受容体です。また、II 型主要組織適合遺伝子複合体と会合することで、アポトーシスシグナル伝達に関与することも示されています。この遺伝子の変異は、乳児期発症型 STING 関連血管症の原因です。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2014 年 9 月]

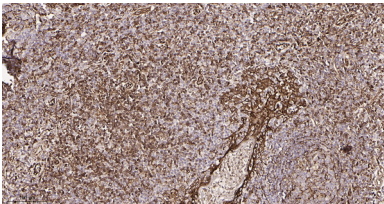
研究分野

-

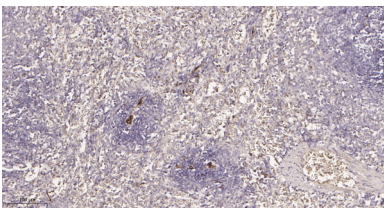
画像データ



TMEM173 ウサギ mAb を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。



パラフィン包埋ヒト扁桃組織の免疫組織化学分析。1、TMEM173 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。



パラフィン包埋ラット脾臓組織の免疫組織化学分析。1、TMEM173 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。